

生き方一人間として一番大切なこと



[生き方一人間として一番大切なこと 下载链接1](#)

著者:稻盛 和夫

出版者:サンマーク出版

出版时间:2004-07

装帧:单行本

isbn:9784763195432

充実の人生と成功の果実をもたらす、ゆるぎなき指針。二つの世界的大企業・京セラとKDDIを創業した著者が語りつくした、人生哲学の集大成。

## 作者介绍:

1932年、鹿児島生まれ。鹿児島大学工学部卒業。59年、京都セラミック株式会社(現・京セラ)を設立。社長、会長を経て、97年より名誉会長。また、84年に第二電電(現・KDDI)を設立、会長に就任。2001年より最高顧問。84年には稻盛財団を設立し、「京都賞」を創設。毎年、人類社会の進歩発展に功績のあった人々を顕彰している。他に、若手経営者が集まる経営塾「盛和塾」の塾長として、経営者の育成にも心血を注ぐ。

目录: プロローグ(混迷の時代だからこそ「生き方」を問い合わせ直す

魂を磨いていくことが、この世を生きる意味 ほか)

第1章 思いを実現させる(求めたものだけが手に入るという人生の法則

寝ても覚めても強烈に思いつづけることが大切 ほか)

第2章 原理原則から考える(人生も経営も原理原則はシンプルがいい

迷ったときの道しるべとなる「生きた哲学」 ほか)

第3章 心を磨き、高める(日本人はなぜその「美しい心」を失ってしまったか

リーダーには才よりも徳が求められる ほか)

第4章 利他の心で生きる(托鉢の行をして出会った人の心のあたたかさ

心の持ち方ひとつで地獄は極楽にもなる ほか)

第5章 宇宙の流れと調和する(人生をつかさどる見えざる大きな二つの力

因果応報の法則を知れば運命も変えられる ほか)

・・・・・ (收起)

[生き方一人間として一番大切なこと 下载链接1](#)

## 标签

稻盛和夫

日语原版

日本

自我成长

个人管理

稻盛和夫

哲学

藏書

评论

诶……翻拍到手软。

很典型的ビジネス書，大而空，最后还有点散。一个人能把企业做好，不代表就能很好地教别人呢…居然提到了《阴骘录》里袁了凡的故事。

很励志

看起来老旧朴实的道理往往才是真道理。然，万事离不开努力与坚持，而这恰恰是最难做到的。多看几遍，肯定每次都有不同体会与感悟。

以平常心做平常事。相信命运也相信因果报应。

可以说稻盛和夫先生是当代的圣人吧，日本也极力推崇这种实干家精神，排名前十的企业家多半做的是实业。不像中国，搞投机、房地产，今天的日本还会迎来下一个十年。不管怎么说，这本书给了我力量，但好像这种做法在中国行不通，照书上的做法会被....的，最后希望稻盛和夫先生长寿到百岁。

[生き方一人間として一番大切なこと](#) [下载链接1](#)

# 书评

---

[生き方一人間として一番大切なこと 下载链接1](#)